

総務経済常任委員会会議記録（概要）

平成30年9月10日（月）

開 会（午前9時0分）

【議 事】

○議案第117号「旧コンポストセンター跡地利活用事業契約締結について」

【補足説明】 な し

【質 疑】

城下委員

議案質疑の際、次年度に指定管理者の選定に入るという答弁があったが、地産地消のエリアなのか。そのあたりのところかと思うが、市で考えている指定管理を受託する事業者について、どのように想定されているのか教えていただきたい。

吉永商業観光

課主幹

これからヒアリングを行う予定であるが、本市の魅力を発信するとともに、この施設を拠点として狭山丘陵や観光農園などの観光拠点だけでなく、周辺の自治体への回遊をつくり出すこともできる魅力ある施設運営を目指しているところであり、これらを実現できるような事業者の提案等、ヒアリングしながら選定に向けて考えていきたいと思っております。

村上委員

施設への車での来場数や人数は、どれくらいを想定しているのか。

吉永商業観光課主幹 当初、150台程度を想定しております。警察との交通協議をさせていただいたところ、この内容で問題ないとのこと。最大でどれくらいくるかは想定しておりませんが、対応できるものと考えております。

村上委員 施設の配置についてはプロポーザル側が提案してきた図面かと思うが、人数の関係性とトイレの数はどのような計算なのか。こちらから指示をしてこのようになっているのか、それとも向こうで洋式和式の数を出しているのか。

吉永商業観光課主幹 特に市からは指示を出しておりません。事業者の提案でトイレの数を出していただいているところです。

村上委員 駐車場の一番遠いところにトイレがあるが、ここを通過してKADOKAWAへ行くことになるが、市の仕様書ではなく向こうの設計の提案でこうなっているということか。

吉永商業観光課主幹 事業者からの提案で、このようなデザインになっております。

村上委員 全体的な使い勝手について、マルシェの部分のデザインだが、飲食店舗

の部分はどれぐらいの広さなのか。

吉永商業観光
課主幹 パース図ですが、デザイン的にはこの建物自体が全部含めて500平米弱になるとのことで、その中での飲食スペースも含んでおります。実際の広さについてはまだ出ておりません。

城下委員 関連して、今回のパース図はあくまでも提案ということで、多少の変更はあり得るという理解でよろしいか。

吉永商業観光
課主幹 そのとおりです。

城下委員 昨日の質疑の中で、発電機も設置されているということで、防災備蓄倉庫も予定しているという話もあった。駐車場を含めた跡地利用について、災害時の避難場所も含めての検討をしているのか。

吉永商業観光
課主幹 指定されている避難場所は別にあると思いますが、来場者が被災された場合に一時的に避難ができたり、万が一停電になった時、発電機もありますので近隣住民の方の電気の供給もできることを想定して事業者から提案いただいています。

末吉委員

村上委員の質問に関連して、駐車場の総台数というのはわかるが、例えばどれくらいの方が来て、KADOKAWAに行かれる方もいらっしゃると思うが、それも含めてマルシェにどれくらい滞在し、1日に何回転するかなどの多少のシミュレーションはないのか。

吉永商業観光

そういったシミュレーションは行っていません。

課主幹

末吉委員

質疑でも、回遊につながる魅力発信機能という質疑があったが、駐車場を含めここを起点にしつつKADOKAWAとの連携、そしてそこからさらに所沢を回遊していただけるとよいね、という話であったかと思う。そのためには動線というか、どう動いていただくことも含めて戦略が必要になるかと思う。そういった時に、先ほどの滞在時間のシミュレーションや観光客や来場者をどのように誘導していくか、ということのシミュレートはいつやっていくつもりなのか。

吉永商業観光

これから運営に関しての指定管理の募集を行っていく予定であり、その中で提案等を受けながら請け負うであろう業者と調整しながら進めていくことになると思います。

末吉委員

指定管理に応募してくる事業者からのプレゼンを頼りにするだけでな

く、市でもある程度ビジョンを示して共有していくことがよいのではない
かと思うが、その点についてはいかがか。

吉永商業観光課主幹 市の魅力発信などの考えについては、基本的には持っていますので、ヒ
アリングまでには煮詰めていかなくはと考えております。

城下委員 先ほど来場者の数や回遊性の話があったが、地方創生に関する特別委員
会においても、観光バスが例えば1日3台くらいという説明もあった。K
ADOKAWAも当初の交通量調査などから来場者等もはじき出してい
ると思うが、その辺は当然企画と連携して地産地消を前面に出した物産販
売スペースという位置づけもあるので、指定管理者にだけ提案を求めるの
ではなく、こちらからもある程度、積極的な提案と企画との連携も必要か
と思うが、どのように調整されているのか。

吉永商業観光課主幹 細かい調整までは行っておりませんが、委員のおっしゃるような形で、
今後、検討していきたいと思います。

杉田委員 バス、駐車場関係について、バスは3台とのことだが、土日など休みの
日はもっと多くなるのではと思う。これだと、降ろすだけのスペースにな
っているということか。それとも降ろしたらまた乗せるのか。どのように
考えているのか。

吉永商業観光
課主幹

このパース図においては、バスは6台とめられるようになっております。基本的には、乗ったり降りたりする場所です。それ以外は、どこかで待機場所を探していただく形です。平日、6台以内で収まる場合には、こちらに駐車していただくことも可能です。

杉田委員

平日少なかったら可能かと思う。また、平日、駐車場はバスも含めて無料ということでよいのか。また深夜はどうするのか。時間になったら閉めてしまうのか。

吉永商業観光
課主幹

金額については決まっていますが、有料で考えています。また深夜に関しましては、住民説明会を開催した時に住民から近隣との関係、防犯の関係から夜間は閉めてほしい、ということでありましたので、夜は施錠する予定でいます。

杉田委員

パース図の右下、KADOKAWAのほうに渡る橋ができる予定かと思うが、橋を渡るための階段を登っていくようになっていると思う。以前の提案の時にも、高齢者がふえることからエスカレーターを是非つけてほしい、という意見もあったと思うが、その辺の議論はどうなったのか。

吉永商業観光

エスカレーターに関しましては、ヒアリングの中でもいただきましたの

課主幹

で事業者にも確認をとりましたが、一点は費用的にかなり高額になるという
ことでした。もう一点は、ブリッジは結構高さがあり、そこにエスカレ
ーターをつけると、広場をかなり占拠してしまうということでした。また、
屋外に設置するとなると、これまでの経験から、故障などメンテナンスの
面でも屋外のエスカレーターは難しいのではないか、というアドバイスで
した。

城下委員

そうするとエレベーターはついているが、何人ぐらい乗れるエレベータ
ーを想定しているのか。

吉永商業観光

マックスで15人ということです。

課主幹

村上委員

あくまでもプレゼンということなので、今後の協議の中でこの中身は変
動してくるということによろしいか。

吉永商業観光

これから設計の中でも、ある程度の範囲内では協議ができると考えてお
ります。

課主幹

村上委員

参考資料ナンバー11の6ページの評価について、事業実施に係る項目
の中で、今、行政が突出してこういったものがもう少し足りないな、とか

こういったものをもう少し検討してもらいたいな、という考え方はあるのか。180点中141点、この数字の開き、合格点というのはよいのかも
しれないが、もう少しこういったことを行政側として担当側としては望み
たいとかブラッシュアップしてもらいたい、そういったようなものの考
え方はあるのか。

柳田商業観光
課長

まずこのエリアの敷地に関しては、滞水池という機能が活かされるとい
うこともありまして、駐車場のエリアは地下の滞水池であり、滞水池の上
は駐車場しか駄目ということがあり、配置的にはいろいろなバリエーショ
ンがあるというわけではないということが一つにあります。

その中で、選定委員会で議論になった点としましては、そのバスない
しは自動車の乗り降りをした方の動線、人の動線、安全をどう確保するの
かという部分については、今回の提案の中で、もう少しブラッシュアップ
して安全確保について考えていただいたほうがよいというような意見を
いただいております。

近藤委員

防犯上の問題について伺いたい。閉店した後の防犯体制についてどのよ
うになっているのかお聞きしたい。

吉永商業観光
課主幹

機械警備によるものと思います。ブリッジに関しては、連絡歩道橋とい
う形になりますので通れますが、施設については施錠をして中には入れな

いようにします。

近藤委員

KADOKAWAのほうからくるブリッジはフリーということでしょうか。

吉永商業観光
課主幹

KADOKAWAからくるブリッジのお互い降りるところは、フリーで通れるということです。また、KADOKAWAの広場から駅に抜けるところは24時間通れるようにする予定であり、また警備員もいるようなことを聞いております。

近藤委員

イメージ図を見ると駐車場もあり、夜になると夏場においてはここが子どもの集まる場所になる可能性もないとは言えない。その辺の警備体制も今から対策を考えておいたほうがよろしいのではないかと思うが、その辺についてはいかがか。

吉永商業観光
課主幹

今おっしゃった内容につきましては、住民説明会の中でもご意見をいただいております、これからこういった警備になるかということについては機械警備も含め、事業者と検討してまいりたいと思います。

亀山委員

桜の時期は、多くの方が夜遅くまで観光に来られるということで、その辺の防犯体制については季節に応じ柔軟に対応していくということによ

ろしいか。

吉永商業観光
課主幹 柔軟に対応させていただくと思いますが、近隣の住民の方との話もありますので、今後こういった形にしていくのか検討してまいりたいと思います。

村上委員 スケジュール関係について、指定管理者制度の選定と最終的な実施計画のつくる時期は、リンクしているのか。つくってから指定管理を募集したら、使い勝手が悪いという可能性はあるかと思うが、その辺はどういうスケジュールになっているのか。

吉永商業観光
課主幹 これから設計を進めてまいります、その中で調整ができればと思います。指定管理と分かれているので、同時進行は難しいですが、汎用的な形での施設を設計してもらおう仕様になっています。

村上委員 汎用部分については、変更可能な設計にしていくということによろしいか。千歳のサーモンパークは、内装関係がうまくいかず、当初指定管理の募集が1件もなかったとのことであった。あとの人たちにお金をかけてもらうということで、収支がうまくいかず、その辺は十分注意しながら柔軟に対応できるということによろしいか。

吉永商業観光
課主幹

ヒアリングの時に事業者からもありましたが、いろいろなことに使えるよう、必要最低限のものだけを準備するようご提案いただく形で検討しております。

城下委員

ハイシーズンの時のバス駐車について、降ろしたら移動し、また乗せに来るわけだが、その間、大型バスはどこで駐車しているのか。近隣にも大きな駐車場はないが、市は事業者に対しどのような対策を指導していくのか。

吉永商業観光
課主幹

市ではバスの駐車場を設けてはおらず、バス会社に任せているところで。迷惑にならない場所でバスが待機できる場所が、何か所かあると聞いております。

亀山委員

トイレの件について、地産地消のマルシェのほうにお客様に来ていただきたいということで、どちらに重きをおいてトイレの数などを考えているのか確認したい。

吉永商業観光
課主幹

来ていただいた方もそうですが、サクラタウンから来る方にもご利用いただきたいと考えております。トイレに関しましては、もう少し検討できるところがあるのか、今後、進めていく時に、設計の段階で調整がきくのかも併せて検討していきたいと思っております。

【質疑終結】

【意見】 な し

【採決】

議案第117号については、全会一致、可決すべきものと決する。

○議案第82号「平成30年度所沢市一般会計補正予算（第5号）」当委員会所管部分（産業経済部）

【補足説明】なし

【質 疑】

城下委員

議案資料ナンバー2の36ページについて、議場でも質疑が出ていたが、フランス航空教育団来日100周年記念イベントでブルーインパルス
の展示飛行の申請をしているとのことだが、1点目は自衛隊のある愛知県
小牧基地でも、この危険性について航空法第91条に反するのではない
か、ということで裁判が起きているようだが、こういった事例は把握され
ているのか。

柳田商業観光
課長

小牧基地の裁判の状況については、把握しておりません。

城下委員

過去にも、奈良基地でもこういった航空法に違反の容疑で告発状が出さ
れたという経緯もある。把握はしていないということだが、市のほうでは、
実行委員会からそういう意見があったので申請中ということだが、その結
果はいつごろわかるのか。

柳田商業観光
課長

こちらの申請につきましては年が明けて、最終決定は2月頃になると聞
いております。

城下委員

せっかくの100周年記念イベントということでは、多くの市民の方も期待をしているイベントになるかと思う。一方で、飛行の安全面を危惧する方たちもいらっしゃるわけで、その辺の部分については実行委員会の中でどういった議論があり、こういう申請に至ったのかお聞きしたい。

柳田商業観光
課長

ブルーインパルス申請につきましては、申請者が2名の方の連名となっております。1名は、所沢側の実行委員長名、もう1名は任意団体ですがフランス航空教育団来日100周年をお祝いする日本全体の実行委員会ができており、東京大学の鈴木教授が会長をされており、この2名の連名での申請となっております。

ブルーインパルスに飛んでいただければ、という議論につきましては、一番初めは、フランス航空教育団来日100周年でどういったことができるだろうか、という事業のメニューを事務局からも数多く出しておりました。その中で、実行委員会が設立された後、検討しまして、フランス航空教育団が来てから日本の航空技術の進展が始まったという意味合いも考え、ブルーインパルスに飛行いただくことがこのイベントの中でも可能であれば実現していきたい、という議論がありました。

城下委員

結果はこれからということだが、せっかく600万円の市費を投じて100周年という節目を記念イベントという形で開催することで実行委員

会もやってらっしゃるわけだが、不安に思う市民の方たちの思いもしっかりと汲んで、その辺も含めての検討をさらに深めていくことはまだ可能か確認したい。

柳田商業観光課長 飛行を実施することになった場合は、市としましても実行委員会としましても自衛隊に対し、安全についての申し入れはしていくものと考えております。

城下委員 まだ決定ではないということか。来年の年明けにそれが可能かどうかも含めてわかるということと、これについては国土交通省の許可が当然必要になってくるわけですね。他の自治体では住民が違法ではないか、という動きも出ているということだが、これは是非、情報は把握すべきと考えますが、その辺はいかがか。

柳田商業観光課長 まだ決定ではなく申請の段階ですので、さまざまなご心配やご不安がある部分につきましては、実行委員会にも報告してまいりたいと思います。

末吉委員 日本側の実行委員会があるということだが、その規模はどれぐらいのものなのか。そこはまた別に、イベントを大きく打つことはあるのか。

柳田商業観光 프랑스航空教育団が来日されまして、所沢だけに来たわけではなく各

課長

務原や浜松など、いろいろなところで日本の航空技術を教えるためにフランスの方々が当時活躍されたということです。日本側の実行委員会の中では、そうしたフランスの方が訪れた各地でパネル展示やシンポジウムなどを次々につなげていき、一年間の周年事業を行いたいという企画です。そのほかにも、フランスの方にも執筆いただくような記念冊子をつくる動きもあるところです。所沢の実行委員会におきましては、4月7日に式典を行うことが大きな役割で、所沢としてやりたいというところです。オリンピックで言えば、開会式は所沢でやる、というようなイメージを持っていただけたらありがたいと思います。平成31年4月7日を目指して、日本側の実行委員会も冊子をつくる、パネルをつくるという取り組みも、焦点を当てて連携しながら準備を進めているという状況です。

末吉委員

実行委員会では、一番最初に開くということで、所沢のこのイベントと一緒に宣伝、盛り上げをしていただけるということによろしいのか。

柳田 商業観光

そのとおりです。

課長

杉田委員

所沢の実行委員会のメンバーはどのような方々なのか。委員長はどなたなのか。

柳田商業観光
課長

所沢の実行委員会のメンバーは、実行委員長には所沢市観光協会副会長の日向氏、副実行委員長に所沢航空資料調査収集する会の会長の須澤氏、そのほかに商工会議所、航空発祥記念館、所沢商店街連合会、公益社団法人所沢青年会議所、西武鉄道株式会社、株式会社KADOKAWA、所沢市文化振興事業団、野老澤町造商店、文化フェアの実行委員の方たちなどに入っただき、埼玉県西部地域振興センターにもオブザーバーで入っただきしております。

杉田委員

来年4月6日、7日ですね。毎年やっている市民文化フェアと同じ日ということだと思うが、文化フェアとこの100周年記念のイベントの位置づけ、場所も同じ場所を使うわけだが、どのような関係になるのか。

柳田商業観光
課長

会場としましては、航空公園を想定しております。文化フェアにおきましては、真ん中の芝生を中心に現在組み立てられており、フランス航空教育団の現状の想定としましては、滑走路でありました沈床花壇のところから南側の野外ステージのあたりまで場所を広げていき、例年文化フェアで使われているところ以外に、フランス航空教育団100周年のイベントを行っていく予定です。ただし、ここからここはフランス、ここからここは文化フェアということではなく、お互いの事業が融合できるような、文化フェアももともとはカルチャーウィングという意味合いの行事でもあり

ましたので、そういう意味では融合性を図りながら実施できればと考えて
おります。

杉田委員

所沢の実行委員会でも、文化フェアの委員も入っているような話もあ
ったが、いずれにしても同日に同じ場所でやるわけだから調整は必要かと
思われるわけで、そういった意味では、両方の委員会が一緒に集まったの
協議も当然あるということか。

柳田商業観光
課長

当然、文化フェアと、例えばポスター一つにしても、両方セットでつく
るとメリットが出てきたり、警備の関係もばらばらに警備するのではなく
同じ会場で警備を行っていくわけですので、そういったメリットも出てく
るかと思しますので、当然そういうすり合わせは両実行委員会の中で行わ
れるものと考えております。

杉田委員

この100周年については来年度600万円を予定しているわけだが、
文化フェアのほうも何百万円か、毎年あると思う。例えば文化フェアのほ
うがその額が下げられるとか、その辺のところはどういう感じか。

柳田商業観光
課長

このフランス航空教育団のイベントとしての事業としては、100周年
の節目ということで来年度の単年度単独開催ということになっており、債
務負担行為として限度額を設定させていただきましたが、例えば協賛金が

予想以上に集まったとか、クラウドファンディングをやって宣伝もすごくうまくできたということになれば、当然600万円全てということではなく、実績の中で請求があるものと考えております。

杉田委員

文化フェアは今までどおりか。

柳田商業観光
課長

文化フェアの所管は文化芸術振興課であり、詳しいことはわかりかねます。

近藤委員

所沢市内には、国際航空専門学校がある。この学校とは連携をとっていただく予定か。

柳田商業観光
課長

国際航空専門学校の方につきましては、当然、所沢市内で航空にかかわる専門学校ということで連携をとっていきたいと考えております。具体的に申し上げますと、現在航空発祥記念館のほうで、入間基地の修武台記念館にあるアンリ・ファルマン機の実機がありますが、それを航空発祥記念館にお借りできないかという調整をしております。古典機を分解したりすることができ、しっかり扱える方がご高齢になっており、そうした意味では航空専門学校の方にかかわっていただき、古典機の修理や組み立てなどにかかわってもらうこの機会に、アンリ・ファルマン機とのつながりができるような、そんな取り組みも考えているところです。

中委員

概要調書の中にあっただが、100周年の記念とは、そのイベントを通じてその意味合いを皆さんに広げ、知っていただく一番よい機会かと思う。そのもとになった「日本の航空発祥の地 所沢」という言葉があっただが、これを広く伝えたいということだが、「航空発祥の地 所沢」というのはいつ頃からどのような形で使われて、これをPRしていきましょう、という、簡単でよいので市のほうの経緯というものを教えていただけるか。

柳田商業観光
課長

「航空発祥の地」と言われたのがいつからかということですが、実は商業観光課でいつから言われ始めたか、という部分はわかりかねるところです。市民憲章の中でうたわれ始めた、という部分がある意味大きく世間に知られるようなことになったということかと思えます。また、「航空発祥の地」という言い方についても、いくつか議論があります。まず、一番最初に飛んだのが所沢ではなく、代々木の練兵場から所沢に向けて飛び立って来たのが最初であろうという議論もあります。しかし、所沢に飛行場ができたということにつきましては、紛れもなく事実であり、一番最初の飛行場は所沢で、その飛行場から初めて飛行機が飛び立ったのも所沢で、そういう意味で「航空発祥の地」ということが言われていると理解しております。

中委員

私も議長時代にそういったことでPR言葉として「航空発祥の地」とい

う言葉を使わせていただいでいて、公式飛行場ができて、そこを使って初めて飛んだのが所沢です、というのはお聞きしておりますのでそこはPRしていただければと思う。その上で100周年というと、航空発祥は明治44年からなので6年、7年前がそれにあたって、今回は教育団の関係ということだが、教育団は所沢以外にも浜松やほかのところにも教育団が来られて日本中に航空の知識や技術を伝えてきたという話だと思う。所沢がそれに特化したもの、教育団をまず初めに受け入れたとか、何か関連があるのか。

柳田 商業観光
課長

入ってきたのは長崎から入ってこられたと確認しています。所沢の地に全員の教育団が来られたわけではありません。主には気球の技術のこと、飛行機の製造に関することの技術を教えに所沢に多くの方が来られたということが残されているところです。

中委員

私もうろ覚えだが、教育団の方が来られて、その後所沢に航空学校ができて、そこで培っていただいた受講者の方々が全国にまた展開していった、という話もお聞きしている。そういったところも、所沢としては特化の一つとして捉えてよろしいのか。

柳田 商業観光
課長

おっしゃるように、所沢に航空学校があり、そこで飛行機のつくり方や操縦の仕方も含めて、航空技術を習ったパイロットが全国に出ていったと

いう事実もあります。

中委員

そうすると、所沢はやはり航空とは切っても切れない関連性にあるなと、私は今認識している。また以前、ロケットの関係で毛利さんにお越しいただいたこともあり、そういった方との関連も、今後所沢が航空を周知していく上でも、初フライトをしたという意識は皆さんの中にはあるが教育団という技術そのものを伝えたこと、これからも伝えていくという姿勢は、この100年をきっかけにして変わっていくということによろしいのか。

柳田 商業観光
課長

所沢に住んでいる子どもたちについては、これから10月以降、航空教育団にかかわる所沢の航空の歴史を説明するような冊子を使って、できれば全ての小学校に出前講座的に回るようお願いを教育委員会にしており、既に2校から時間を設けていただいております。

中委員

予算のことで600万円だが、先ほどクラウドファンディングだとか協賛金が絡むことだと思うが賛同いただければそれなりの金額が集まってくるのかと予想はされるが、仮にだが、それがもし集まってきた場合に、債務負担行為の上限が600万円という形になるかと思うが、ファンディングがきた場合はその金額を上乗せした形で事業を展開するのか、その中だけでやっていくのか、その考え方を教えていただきたい。

柳田商業観光
課長

補助金以外の部分で、お金が例えば全て賄えるというような事態になった場合には、補助金は使わないということになろうかと思えます。しかしながら、4月7日の行事の準備としまして、年内にテントのことや音響のことなどについては、実行委員会としても契約手続きを進めていかなくてはならないという事情もありますので、補助金の交付決定は、債務負担をお認めいただいた上で、実行委員会に交付決定をしていけたらと考えております。

【質疑終結】

【意見・採決保留】

休 憩（午前9時50分）

（説明員交代）

再 開（午前9時51分）

○議案第116号「基地内施設新設工事請負契約締結についての一部変更についての一部変更について」

【補足説明】なし

【質 疑】

城下委員

議場で今回の金額変更の理由として、鉛の処理分、汚染土壌の鉛が出た部分を、国が所沢市の提出したものを、市や基地対策協議会からの要望も受けて、国がお金を出して処分するというので、今回、金額の変更が出ているが、その際、議場でこれも答弁があったかどうか、今後利用する工事費用、今後想定されている工事について、確認したい。

内野企画総務
課長

基地の契約についての工事については、現在、消火栓などの工事を中でやっております。基地のゲートの工事も施設新設工事の中に含まれております。それとは別に、東西連絡道路本体の工事や基地の中の米軍が使う運営用道路の工事なども別の発注ですが、今後行う形です。

城下委員

全体で70億円、所沢市の負担が17億円という話があったと思う。そうすると、次に議会に出てくる予算というのは、どういう工事があるのか。その17億円の中のどれぐらいの費用が今後想定されているのか。そのあたりをお示しいただきたい。

内野企画総務
課長

工事自体については、今後議会にお諮りするものではありません。3月の当初予算に継続費として、先ほど言った工事費用は含まれている形になります。

城下委員

確認だが、今後は例えば労務単価の関係で、労務単価が上がった場合、材料等の高騰があった場合には、もしかしたら議会にも補正は上げるかもしれないけれども、今後は、大きな工事の追加というのではないという理解でよろしいか。

内野企画総務
課長

今後、工事自体の追加はありません。変更については、来年の通知がまた2月ぐらいにおそらく出る形になりますので、残工事との兼ね合いから、出るか出ないか定かではありません。

【質疑終結】

【意見】 な し

【採決】

議案第116号については、全会一致、可決すべきものと決する。

○議案第82号「平成30年度所沢市一般会計補正予算（第5号）」当

委員会所管部分（経営企画部）

【補足説明】なし

【質 疑】なし

【意見・採決保留】

休 憩（午前9時55分）

（説明員交代）

再 開（午前9時56分）

○議案第86号「所沢市職員の自己啓発等休業に関する条例の一部を改正する条例制定について」

【補足説明】 な し

【質 疑】 な し

【意 見】 な し

【採 決】

議案第86号については、全会一致、原案のとおり可決すべきものと決する。

○議案第87号「所沢市非常勤の特別職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について」

【補足説明】 な し

【質 疑】

城下委員

今回、障害者雇用就業員ということで、日額が180円引き上げられるという一部改正だが、その背景を説明いただきたい。

高橋職員課長

このたび、埼玉労働局が設置しております埼玉地方最低賃金審議会により、平成30年10月1日から埼玉県の前最低賃金の改定額が898円になることが答申されました。これにより、所沢市障害者雇用就業員の時給単価について、埼玉県の前最低賃金額を下回る事となったため、今回、報酬額の改正を行うものです。

【質疑終結】

【意 見】 な し

【採 決】

議案第87号については、全会一致、原案のとおり可決すべきものと決する。

○議案第82号「平成30年度所沢市一般会計補正予算（第5号）」当委

員会所管部分（総務部）

【補足説明】なし

【質 疑】なし

【意見・採決保留】

休 憩（午前9時59分）

（説明員交代）

再 開（午前10時1分）

○議案第82号「平成30年度所沢市一般会計補正予算（第5号）」当委員会所管部分（財務部）

【補足説明】なし

【質 疑】

城下委員

債務負担行為補正、収納管理業務委託料について、議場の質疑でも出ていたと思うが、収納管理、口座振替等の事務を委託して、議案質疑では5人が滞納整理の担当職員に従事をするという説明だったと思うが、間違いないか。

関口収税担当

そのとおりです。

参事

城下委員

私たちはよく議会で、徴収業務と福祉との連携ということをいつも言っているのだが、そのあたりの連携は、この5人の方々は今後どのようにやる方向なのか。協議があれば、お示しいただきたい。

関口収税担当

福祉との連携ですが、今までの滞納整理職員と同様に、生活困窮が疑われる納税者がいたときには、福祉の担当部署を紹介するであるとか、中には、その福祉のところまで連れて行って相談をしてもらおうというようなことを想定しております。先ほど申し上げました5人ですが、5人程度ということです。

参事

城下委員

議場では5人と答弁されていたが、確認したい。

駒井財務部長

5人程度が確保できるのではないかとということでお答えしたのですが、定数は経営企画課で決めますので、はっきりしたことは申し上げられませんが、

城下委員

確認だが、これまでも福祉との連携ということでは取り組んでいただいている。ネットワーク化の構築というのも私たちは提案しているので、そういう視点でも、今後も取り組んでいくための、議案の提出だという理解でよろしいか。

関口収税担当

そのとおりです。

参事

【質疑終結】

【意見・採決保留】

休 憩（午前10時5分）

（説明員交代）

再 開（午前10時20分）

○議案第82号「平成30年度所沢市一般会計補正予算（第5号）」当委

員会所管部分

【意見】

城下委員

日本共産党所沢市議団を代表し、賛成の立場から議案第82号所沢市一般会計補正予算第5号の債務負担行為の中から2点、意見申し上げます。

1点目、収納管理等業務委託料ですが、事務部門の委託をして今までかわっていた職員を収納対策の専門として配置をする、という内容になっています。まず、生活困窮者をしっかりと福祉につなげるよう、福祉部門との連携を進めること。

2点目として、「フランス航空教育団来日100周年記念イベント実行委員会補助金」ということで、ブルーインパルスの展示飛行を申請中ということですが、まだ決定ではないということでした。住宅密集地上空での飛行についても不安を持つ市民もいることから、こういった状況もしっかりと実行委員会に申し入れていくという答弁もありましたので、現在行っている申請を取り下げを求めて、議案82号については、賛成の意見といたします。

中委員

自由民主党を代表し、賛成の立場から議案第82号所沢市一般会計補正予算第5号の債務負担行為、フランス航空教育団来日100周年記念イベント実行委員会補助金について意見申し上げます。

この事業につきましては市民憲章にもうたわれております「航空発祥の

地 所沢」を広く内外にアピールする活動を支援するというものであります。

また、ブルーインパルス の飛行に関しては、この地に教育団が来て100年、そこから飛躍的な進歩を遂げた日本の高度な航空技術の象徴であるともいえます。

今回の補正予算につきましては、債務負担行為で上限額を設定するものであり、協賛金またクラウドファンディング等、予想以上に集まった場合には支出額も抑えられ、また、魅力ある取り組みを積極的に発信していく財源確保に今後も努力することを期待いたしますし、この開催が大成功のうち開催されることを期待いたしまして、賛成の意見といたします。

近藤委員

自由民主党・無所属の会を代表しまして議案第82号債務負担行為フランス航空教育団来日100周年記念イベント所沢実行委員会補助金について、賛成の意見を述べさせていただきます。

今回のイベントは、フランス航空教育団が来日して100周年にあたるイベントで、まさに100年に1度の、航空技術の歴史が所沢の地で始まったことを内外に広くアピールし、「航空発祥の地 所沢」を発信する絶好の機会です。

ブルーインパルス の展示飛行が実現すれば、このイベントの趣旨からして、航空の歴史に深くかかわってきた所沢を知っていただく機会となります。

所沢の飛行場から初めて飛び立ったのは、フランス製のアンリ・ファルマン機であり、100年前にはフランス航空教育団が多くの功績を残されました。その功績を称えブルーインパルスが飛行することは、所沢であるからこそ、航空発祥の地であるからこそ、意義深いものだと考えます。

また、イベントの内容は、日本側の実行委員会やフランス大使館、県の施設である航空発祥記念館、市内にある国際航空専門学校など、さまざまな連携を進めていることも評価できます。

さらには、産業経済部が所管しているので、このイベントが一時のものに留まらずこれからの観光・インバウンド誘致、狭山茶などを通じた産業交流のきっかけにも期待できます。

市では、ロケーションサービスにも力を入れていることから、マスコミやメディアにも積極的に働きかけ、期待を膨らませれば番組にしてもらえる可能性も感じます。

こうした、魅力のある、広がりのある取り組みにしていくためには、当然に安全対策や環境整備にも費用が必要となることも理解できます。

実施に当たっては、実行委員会で協賛金やグッズ販売、クラウドファンディングなど収入を確保する努力もされるとのことでした。

こうしたことから、本議案について賛成の意見とします。

【意見終結】

【採 決】

議案第82号当委員会所管部分については、全会一致、原案のとおり可

決すべきものと決する。

休 憩（午前10時25分）

（休憩中に協議会を開催）

（説明員交代）

再 開（午後10時50分）

○請願第2号「高齢者の移動手段保障のため所沢市の施策を充実してください」

城下委員

請願第2号の審議に関しては、請願者の意向をお聞きする参考人制度を利用して、予備日の27日を使用し、お話を伺いたい。

粕谷委員長

請願第2号については、本日の審査をここまでとし、9月27日の委員会審査予備日の午前9時から委員会を開催し、地方自治法第109条第5項の規定に基づき、参考人として八木多美代氏、並びに坂下幸雄氏の出席を求め、意見を伺うこととしてよろしいか。

(委員了承)

散 会 (午前10時52分)